

主催：研究・イノベーション学会関西支部、協賛：日本設計工学会関西支部

## 第 8 回（通算 155 回）研究会のご案内

今回の研究会は、年間研究テーマ「イノベーションと地域創生」のもと、「中小企業の底力Ⅳ」として、厳しい経営環境下でも忍耐強く独創的な事業に取り組んでおられる中小企業 3 社から事業発展の「底力」についてご発表頂き、議論を深めます。皆様方多数のご参加を期待します。

日時： 9月25日(金) 13:30~17:20 (いつもより30分早く始まります)

場所： 大阪電気通信大学駅前キャンパス(京阪寝屋川市駅 3分)1F/101 教室または 6F/601 大教室

概要：

『第1講』前西佳信氏：ハノーバメッセに足を運ぶようになったのは30数年前からです。最初のきっかけは、弊社の電子関係の取引先が仕入先を引き連れ、ハノーバメッセに見学に行った事です。その頃のハノーバメッセには電子関係の企業も展示会に出展しておりました。その後、電子関係は分離される事になり、このツアーはこの年の一度だけの行事に終わりました。電子関係と機械関連の企業の開発速度が格段の差がある為に、進歩の速い電子関係の企業の展示会は別で開催される事が妥当という事になったと思われまます。このハノーバメッセ見学で非常に参考になった事は、世界中から日本で販売されていない色々な商品が展示されている事でした。それからは毎年、新商品を探しに行く事になりました。

『第2講』平井敏治氏：創業以来42年、製缶板金業という分野で業を営んでおります。金属の加工が主体でその殆どが、別注文、単品物でお客様図面による、加工技術を提供する下請け加工業です。その中で出くわした様々な課題を乗り越えながら、学習し経験を積み重ねて今日まで続けて参りました

下請け加工業の弊社が、大学生の開発協力、大学、企業との共同開発、機械や装置の設計、製作をいつの間にかそんなこともするようになっておりました。2016年頃から、沖縄の友人の縁で落花生の殻割機の開発を頼まれもしないのにすることになり、改良しているうちに商品となってきました。2018年~、落花生のご縁で頸椎損傷という障害を持つ画家の治具の製作に関わっています。現在もその改良は続いています。

『第3講』安 鋼氏：中国における高齢者介護ビジネスは成長産業である。但し、日本企業が参入するに当たっては課題が山積している。日本のような介護保険制度はなく、国民の介護に対する認識も大きく異なるからだ。試行錯誤を繰り返しながらも深化する日本企業の先行事例を紹介し、中国の介護事情及び介護保険制度の導入動向を紹介する。

講演会のプログラム：

13:30~13:40 主催者挨拶

13:40~14:30 「ハノーバメッセと弊社」

前西佳信 氏 (株) エバオン代表取締役 会長

14:30~14:40 休憩

14:40~15:30 『零細企業の開発ものがたりーニッチな開発こそ地域や社会に必要なー』

平井敏治 氏 (株) メタルファンテック代表取締役 会長

- 15:30~15:40 休憩  
15:40~16:30 「中国の介護事情紹介と日本式介護の中国展開について」  
安 鋼 <anangang > 氏 (株) ニューブリッジ代表取締役 社長  
16:40~17:15 総合討論  
17:15~17:20 次回案内

参加費：無料

申込締切: 9月18日(金)

新型コロナウイルス感染拡大の第2波、第3波防止の観点から、前会同様に換気、アルコール除菌、ソーシャルディスタンス等の三密回避の対策を講じています(全館禁煙中です)。

当日受付ではお名前、体温だけお伺いします(家を出られる前に体温測定を御願います)。直接、「配布資料・質問票、参加票」を置いている席にお着きください。質問票は各講演終了後に受付の回収ボックスに入れて下さい(質問事項記入用の筆記具の用意をお願いします)。総合討論は質問事項のメモを主に行う予定です。

参加される皆様には館内でのマスク着用を御願います(館外ではマスクを外し深呼吸も可能です)。体温37.5°以上の方、体調の悪い方、免疫力の低下している方は参加をご遠慮下さい。

コロナの感染が治まらず、府県をまたぐ移動が禁止されたり、自粛の要請がされるなど開催が危ぶまれるときは、ZoomあるいはGoogle Meetを使ったオンライン開催に変更する可能性があります。この場合は直接またはホームページで連絡をさせていただきます。

申込方法: [I] 下記リンクをクリックして、関西支部のホームページよりお申し込み下さい。

<https://forms.gle/dM1afWcEGUH39bCm9>

または [II] 従来どおり副支部長兼支部事務局の長 西原一嘉の個人メール: [nisihara@osakac.ac.jp](mailto:nisihara@osakac.ac.jp) にお申し込み下さい。

## 大阪電気通信大学駅前キャンパス

(駐車場なし、付近に有料駐車場有。キャンパス周り及び前の道路は駐車禁止になっています。)

